

顧問の思い！

今週は、バスケット部の海山先生から、工業高校大会の結果報告をしてもらいます。授業だけでなく、部活動等を含めて全てが「学び」ですね。海山先生の指導を受けた生徒たちは生涯バスケットに関わっていけるのでしょうか！

9月24日から4日間にわたり工業大会バスケットボールが行われ、荒川工業からは新チームと3年生チームの2チームが出場しました。

昨年はコロナウイルスの影響で中止でしたが、一昨年は優勝していたので、3年生にとっては連覇のかかった『最後』の大会となりました。

1年生を主力とした新チームは、初戦の田無工業戦、20点差以上離された前半を挽回すべく後半ワンゴール差まで追い詰めましたが惜敗してしまいました。

3年生チームは、見事今大会も優勝、一昨年に引き続き連覇を果たしました。優勝の要因はただ1つ。試合を通して気持ちを冷静にして自分達のプレーをやりきれたことだと思います。これまでは悔しさからチームプレーが出来なくなることもあり、力を出し切ることができない場面もありました。しかし、今大会では3年生は立派に成長した姿を見せてくれました。それが優勝という最高の結果に繋がったと思います。

ただ、大切なことはこれからどのような人生を歩んでいくかにあります。優勝が決まったときからそれは、既に過去の出来事になります。高校3年間、部活動を通して学んだことをこれからの人生の糧にして頑張ることが優勝の価値を高めることになります。

優勝おめでとう。今後も応援しています。頑張れ！

3年生の背中を目指し、新チームも力をつけ、

来年も必ず決勝戦の舞台にあがります。 海山 真弘



ぶらり、あらこう散歩

先週土曜日に体験授業を実施しました。29名の中学生徒とその保護者が来校し、各科の紹介と体験授業を受けてもらいました。その中でも、電気科の生徒が中学生に電気配線を指導する体験は素晴らしかったです。相手に分かりやすく説明すること、相手が理解しているかを確認しながら進めることなど、電気という技術を通じたコミュニケーションの在り方を感じました。今は、教えられることが多い皆さんですが、必ず「教える」「指導する」側になります。今のうちから、どこが伝えづらいのか、引っかかる場所はどこかなど、思考することはよいことです。そのような経験の場を考えた電気科の先生方、「主体的、対話的で深い学び」の実践ですね！いいね！

憧れは、必ず誇りに変わる。頑張れ！荒工生！



「未来を創る！彩る！荒川工業」